

作成日 2017年 3月 3日
改訂日 2023年 4月 1日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 SC-SD1NB 専用カラーマスター 各色
供給者の会社名称 シーカ・ジャパン株式会社
住 所 東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー 7 F
担当部門 オペレーションズ&サプライチェーン Q-EHS
電話番号 0463-31-2772
FAX番号 0463-31-2769
整理番号 1207-R3
推奨用途 一般工業品（業務用）

2. 危険有害性の要約

GHS分類：

健康有害性	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2 B
	発がん性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分 1

※記載がない項目は、分類基準に該当しない。（分類できない、分類対象外、区分外）

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険
危険有害性情報： 眼刺激
発がんのおそれの疑い
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き： 《安全対策》
使用前に安全データシートを入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

《応急措置》
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露またはばく露の懸念のある場合：医師の診断／手当を受けること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

《保管》
 施錠して保管すること。

《廃棄》
 内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物
 化学名又は一般名：着色用トナー

成分	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS 番号	化学物質管理促進法 (P R T R)	労働安全衛生法 第 57 条の 2 通知対象物
フタル酸ジイソノニル	20~80	(3)-1307	28553-12-0	対象外	非該当
二酸化チタン	0~60	(1)-558	13463-67-7	対象外	政令番号 第 191 号
酸化第二鉄	0~50	(1)-357	1309-37-1	対象外	政令番号 第 192 号
水酸化鉄 (III)	0~50		20344-49-4	対象外	政令番号 第 192 号
カーボンブラック	0~20		1333-86-4	対象外	政令番号 第 130 号
群青	0~30	(1)-22、(5)-3310	57455-37-5	対象外	非該当
チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料	0~80	(1)-558、(1)-543、(1)-517	8007-18-9	第一種指定化学物質 第 31 号、第 309 号	政令番号 第 38 号、第 418 号
ポリアゾ系顔料	0~40	(4)-1079、(5)-3269	3905-19-9	対象外	非該当
キナクリドン系顔料	0~30	(5)-1168	980-26-7	対象外	非該当
C.I.ピグメントイエロー83	0~30	(5)-3169	5567-15-7	対象外	非該当
銅フタロシアニングリーン	0~40	(5)-3315	1328-53-6	対象外	政令番号 第 379 号
銅フタロシアニンブルー	0~30	(5)-3299	147-14-8	対象外	政令番号 第 379 号
炭酸カルシウム	0~10	(1)-122	471-34-1	対象外	非該当
添加剤	0~2	非公開	非公開	対象外	非該当

4. 応急措置

- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師を呼ぶこと
- 皮膚に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ去ること。
多量の水または石けん水で十分に洗い落とす。
脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。
皮膚刺激があれば、医師の手当、診断を受けること。
- 眼に入った場合：洗浄な流水で最低 15 分間目を洗浄する。
洗顔の際、眼球とまぶたの隅々まで洗浄する。
コンタクトレンズは固定していない限り取り除いて洗浄する。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：吐かせる。ただし、嘔吐物が気管に入らないように身体を斜めにす

- る。
 ただちに医師の診断、手当てを受ける。
 水でよく口の中を洗わせてもよい。
 意識がない被災者には、口から何も与えてはならない。
- 最も重要な兆候及び症状 : 情報なし。
 応急措置をする者の保護 : 特になし。
 医師に対する特別注意事項 : データなし

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 小火災 : 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
 大火災 : 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生する恐れがある。
- 特有の消火方法 : 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。滑りやすい。
 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
 関係者以外の立入りを禁止する。
 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
 密閉された場所に入る前に換気する。
- 環境に対する注意事項 : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化方法・機材 : 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
 関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着すること。
 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。-禁煙。
 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具

	を着用する。
	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
	静電気対策を行う。作業着、作業靴は導電性のものを用いる。
	取扱い作業場の電気設備は、防爆構造とし、機器類は接地する。
局所排気・全体換気	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の内容を遵守する。
安全取扱注意事項	: 接触、吸入又は飲み込んではいない。
	取扱い後はよく手を洗うこと。
	蒸気を吸入しないこと。
	屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
接触回避	: データなし
保管	
技術的対策	: 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。 容器を密閉して換気の良いところで貯蔵すること。
保管条件	: 冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。 酸化剤から離して保管する。 容器は直射日光や火気を避けること。 指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。 施錠して貯蔵すること。
容器包装材料	: 溶剤により侵食されない材料を使用する。
その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めるところに従う。	
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度:	
チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料	作業環境評価基準 (2009) 0.1 mg-powder Ni /m3
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) :	
二酸化チタン	日本産業衛生学会 (2013 年度版) 0.3 mg-ナノ粒子 /m3 ACGIH (1992 年度版) TWA 10 mg /m3 (下気道刺激)
チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料	日本産業衛生学会 (2013 年度版) 0.1 mg-Sb /m3 ACGIH (1979 年度版) TWA 0.5 mg-Sb /m3 (皮膚および上気道刺激)
酸化第二鉄	ACGIH (2005 年度版) TWA 5 mg /m3(R) (じん肺)
カーボンブラック	ACGIH (2010 年度版) TWA 3 mg /m3(I)
設備対策	: 蒸気の発生源を密閉する設備、局所排気を設ける。または換気の良い場所に取り扱う。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置することが望ましい。
保護具	

呼吸器用の保護具	: 有機ガス用防毒マスク着用が望ましい。
手の保護具	: ゴム手袋
眼、顔面の保護具	: 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 作業衣、安全靴
衛生対策	: 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。 取扱い後はよく手を洗い、うがいをする事。 この製品を取り扱うときに、飲食または喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体 (ペースト状)
色	: 各色
臭い	: 若干臭いあり
PH	: 該当せず
融点/凝固点	: -45°C (フタル酸ジイソノニル)
沸点、初留点と沸点範囲	: 403°C (フタル酸ジイソノニル)
可燃性	: データなし
引火点	: 235°C (フタル酸ジイソノニル)
自然発火点	: データなし
燃焼性	: データなし
燃焼又は爆発範囲の上限/下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
比重 (相対密度)	: 1.0~3.0 g/cm ³ (23°C)
相対ガス密度	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 特記すべき情報なし。
化学的安定性	: 通常の保管条件/取り扱い条件では安定である。
危険有害反応性可能性	: 特記すべき反応性はなし。
避けるべき条件	: 高温 (80°C以上)
混蝕危険物質	: 特記すべき情報なし。
危険有害な分解生成物	: 特記すべき情報なし。
その他	: 特記すべき情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 各成分の有害性からの加算法計算結果より区分2 Bに該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: 各成分の有害性からの加算法計算結果より区分2に該当。

生殖毒性 : データなし
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : データなし
 特定標的臓器毒 (反復ばく露) : 各成分の有害性からの加算法計算結果より区分 1 に該当。
 誤えん有害性 : データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性
 水生環境有害性 短期 (急性) : データなし
 水生環境有害性 長期 (慢性) : データなし
 残留性・分解性 : データなし
 生態蓄積性 : データなし
 土壤中の移動性 : データなし
 オゾン層への有害性 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

- ・産業廃棄物 (廃油と廃プラスチック類の混合物) として許可を受けた専門業者に処分を委託する。
- ・空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去しておく。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : なし
 国連番号 : なし
 容器等級 : なし
 海洋汚染物質 : なし

国内規制

陸上輸送 : 消防法, 労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。
 特別安全対策 : 特になし

輸送の特定の安全対策及び条件 :

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に
 行なうこと。
 火気厳禁。
 応急措置指針番号 : なし

1 5. 適用法令

化学物質管理促進法 :

チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料
 第一種指定化学物質 第 31 号、第 309 号

安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物質 (法第 5 7 条の 2、施行令第 1 8 条の 2 別表第 9)

二酸化チタン 政令番号 第 191 号
 酸化第二鉄 政令番号 第 192 号
 水酸化鉄 (III) 政令番号 第 192 号
 カーボンブラック 政令番号 第 130 号

チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料

政令番号 第 38 号、第 418 号

銅フタロシアニングリーン 政令番号 第 379 号

銅フタロシアニンブルー 政令番号 第 379 号

消防法 : 指定可燃物可燃性固体類

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

16. その他の情報

本データシートは、日本工業規格 Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」(以下「JIS」という)に準じて作成されており、用語の定義は、JISに従っています。

本データシートは製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。

取扱事業者は自らの責任において各々の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

記載内容は現時点で入手できる資料/情報/データに基づいて作成しております。しかし含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関してはいかなる保障をなすものではありません。

関連する新しい情報を入手した場合、本 SDS は改訂されることがあります。また注意事項は通常
の取扱いを対象にしたもので、特別な取扱いをする場合には用途/用法に適した安全対策を実施の上
ご利用下さい。